

8 番	高島 淳 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
1. 小中学生の通学路における熱中症対策について 【質問趣旨】 近年の気候変動により、夏季の平均気温は大幅に上昇し、特に、猛暑日の数は顕著である。これまでの通学路の考え方では子供たちの健康や、安全が十分に守られていないのではないかと考える。特に本市では平地と山間部が混在し、通学環境の差が大きいため、地域ごとの対応が求められる。また、将来的な学校の再編を含めた持続可能な通学のあり方を検討し始める必要があると考える。さらに通学班のあり方や徒歩通学を前提とした従来の仕組みを見直し、路線バスや、コミュニティバス、スクールバスなどの活用を視野に入れた多様な交通手段を組み合わせることで、子供の安全と学習環境を守ることが必要である。本市の見解を伺う。	(1) 近年の気候変化による影響について (2) 通学時の暑さ対策について	① 本市の小中学校がそれぞれ創立された当時と現在の気候や子供を取り巻く環境が大きく異なる。現行の通学距離基準を気候変動の観点から見直す必要性について、本市の見解を伺う。 ② 気象庁のデータによると昭和30年代の愛知県の7月から9月の平均気温は現在と比べて、2～3度低く、真夏日、猛暑日も格段に少なかった。現在の高温多湿の気候では、夏場の徒歩通学は児童生徒の健康に深刻な影響を及ぼしていると考えるが、通学路に関してどのような対応をされているのか伺う。 ① 猛暑日や熱中症警戒アラートが発令されている日の登下校について、日傘の使用、休憩場所の設定などされているが、そのほかに、安全確保のための具体的な対応策（時差登校、送迎の許可など）をどのように検討・実施しているのか伺う。 ② ここ数十年で道路の整備も進んでおり、歩きやすくなった反面、アスファルト部分が増えて、照り返しが強くなり、体温上昇や熱中症リスクを高めている。暑熱対策の検討など、通学環境の改善に向けた取り組みについて伺う。 ③ 他自治体の取り組みでは、通学路に面した企業や商店が、児童・生徒の通学の援助（水分補給やミスト、休憩場所の提供など）をしているところもある。本市としての対応はどのようなか伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。

2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。

3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

8 番	高島 淳 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		④ 登下校時の暑さによる体調不良が増える時期には、学校と家庭、保健室が迅速に情報共有できる体制が重要である。特に見守りのボランティアの方と同行していない時など、子供達だけで登下校している時にはどのような指導をしているのか伺う。 ⑤ 熱中症予防には、気温だけでなく湿度も考慮した WBGT (暑さ指数) の活用が有効とされている。他自治体では、WBGT 値が一定を超える場合に時差登校や送迎推奨を行っているが、本市ではこうした科学的指標を用いた判断体制を整えているか伺う。 ⑥ 近年は9月以降も猛暑日が続く傾向がある。夏休み明け直後の体力が戻っていない時期における登下校時の熱中症予防策を、どのように学校と連携して行っているか伺う。 ⑦ 通学範囲によっては下校時、小学校低学年が少人数で下校する様子を見かける。このような場合、熱中症発症などの緊急時における対応が心配される。どのような指導をしているのか、併せて、保護者に対してはどのような説明をされているのか伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

8 番	高島 淳 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 通学路の安全対策について	① 本市は平地部と山間部が混在しており、通学環境の差が大きい。特に坂道や歩道の未整備、交通量の多い狭隘道路など、地形特有の通学リスクに対し、地域別の対策を講じる必要があると考えるが、本市の見解を伺う。 ② 特に、山間部に近い地域の通学路では、猪や鹿、蜂、蛇など生物による危険が指摘されるが、やむを得ず、その道を通っている場合もあると聞く。どのような対応をされているのか伺う。 ③ 通学路の安全対策として、これまで危険箇所点検を学校、警察、自治会などを通じてされてきたが、その情報はPTAを含め、児童・生徒と保護者に共有されているか伺う。 ④ 通学路の危険箇所点検で、危険箇所と指摘された場所はどのように対応しているのか伺う。 ⑤ 本市でも、児童・生徒自身が危険と感じる箇所をタブレットの地図上に可視化して「子ども目線の通学路点検」を行い、学校、保護者においてリアルタイムで共有することができると考える。このような手法を取り入れ、現場に即した対策を講じる考えはあるか伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

8 番	高島 淳 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) 持続可能な通学路対策について	① 通学路の熱中症対策の一つとして、コミュニティバスの活用があげられる。7月や9月の暑い時期限定で、コミュニティバスを活用した対応は考えられるか伺う。 ② 将来的には人口減少に伴い、小中学校の再編、統廃合が進むと考えられ、通学距離はさらに長くなると推測される。このことを見据えると、全校的なスクールバスの導入が現実的な選択肢になると考える。今後、一部地域での試験導入や段階的な実施により検証していく時期である。その考えはあるのか伺う。 ③ 人口減少や学校再編が進む中で、教育の質を守りながら、子供たちに安全で快適な通学環境を提供していくことは、重要な課題であると考えます。本市として教育環境の最適化と持続可能な通学路対策をどのようにしていくのか見解を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。